

# こんにちは! 社協です!!

ふれあいネットワーク

2017

12月

No.150



特集  
P2・3

## 生活支援コーディネーターの 動きとさまざまな活動



ひ孫と  
いっしょ

シリーズ149

山崎町五十波

片岡 ゆき子さん(92歳)

○ 諒太くん(2歳)

○ 聖翔くん(8ヶ月)

片岡 篤史さん・育恵さん

■長男・二男

# 生活支援コーディネーターの動きとさまざまな活動



宍粟市社会福祉協議会では、平成28年度から、地域の支え合いによる生活支援サービスの体制整備を進めていくために、新たな専門職として、第2層の生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）を2名配置しています。今月号では、生活支援コーディネーターの動きとさまざまな活動を紹介します。

## 地域へ出かけて 宝物さがし

宍粟市社協の生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）は、山崎・千種圏域と一宮・波賀圏域にそれぞれ配置しており、日頃の動きとして、ある1週間の活動スケジュールを下に載せています。

これらを見ると、地域へ出かけ、活動の掘り起し（宝物さがし）や行政との打ち合わせ、生活支援に関わる団体事業者との連携、学習会での資料作りなど、地域づくりを進めていくために多岐にわたる活動を行っていることが分かります。

## 見えてきた 活動や成果のカタチ

3頁に、生活支援コーディネーターが実際に取り組んでいる活動を紹介しています。

2年目となる今年度は、自治会や老人クラブ、地域団体、専門職団体の集まりに積極的に参加し、生活支援コーディネーター活動の啓発を行う中で、地域づくりや生活支援に関するさまざまな相談が入るようになり

ました。

また、住民活動の拠点（公民館等）やひとり暮らし世帯を訪れ、社会資源や生活課題等を把握し、しそく、地域の宝物、リストや地域の支え合い活動事例集、日頃の困りごとアンケート調査・分析など、これまでの活動や成果をまとめました。

## 支え合いを生み出す 協議の場づくりを

このように、生活支援コーディネーターは、地域にあるさまざまな活動や支え合いを発掘・発信する役割を担っています。今後は、地域で暮らし続けるための支え合いを生み出す（仕組みをつくる）「地域を元気にするための協議の場」づくりを進め、そのための話し合いの場や関係者のネットワーク構築、生活支援サービスの開発など、「つなぐプロ」として専門性を発揮していきます。

これからも、住民の意欲を引き出せるような実践や情報発信をしていきますので、生活支援コーディネーターの活躍にご期待ください。

（地域支援課長 波多野好則）

● 生活支援コーディネーターのある1週間の動き

|       | 日               | 月              | 火                    | 水               | 木                     | 金              | 土                |
|-------|-----------------|----------------|----------------------|-----------------|-----------------------|----------------|------------------|
| 8:00  |                 |                |                      |                 |                       |                |                  |
| 9:00  |                 |                |                      |                 |                       | 自宅解放型の居場所訪問・取材 |                  |
| 10:00 |                 | いきいき百歳体操訪問     | ふれあい喫茶訪問             | 生活支援コーディネーター打合せ | 支部地域福祉ミーティング          |                |                  |
| 11:00 |                 | まちづくり活動拠点訪問    | 地域活動者から相談            |                 | 地域ケア個別会議              | 広報原稿作成         |                  |
| 12:00 |                 |                |                      |                 |                       |                |                  |
| 13:00 | 説明・啓発資料作成       | 生活の困りごと相談      |                      | 集いの場立ち上げ相談      | ご近所サポーター養成講座 実践発表者打合せ |                |                  |
| 14:00 | ふれあいサロン訪問 説明・啓発 | 職種間情報交換 相談記録作成 | 生きがいづくりの居場所活動支援      | 職種間情報交換         |                       | ご近所サポーター養成講座   |                  |
| 15:00 |                 |                | 配食サービス利用者宅訪問・聞き取り 3件 |                 | 説明・啓発資料作成             | 事業報告作成         |                  |
| 16:00 |                 |                | 地域密着型デイ運営委員会         | 地域活動調査          | 集いの場取材調整              | 職種間情報交換        |                  |
| 17:00 |                 |                | 訪問記録作成               |                 |                       |                |                  |
| 18:00 |                 |                |                      | 社会資源・地域資源リスト作成  |                       |                |                  |
| 19:00 |                 |                |                      |                 |                       |                |                  |
| 20:00 |                 |                | まちづくり組織委員会へ参加        |                 |                       |                | 養父市社協福祉連絡会研修会へ参加 |
| 21:00 |                 |                |                      |                 |                       |                |                  |



## 生活支援コーディネーターの一言 ～ここが大切！～

- お呼びがかかれば、いつでもどこへでも出向き、地域活動や協議の場に参加し、**地域の方とつながる機会を大切に**している（森井）
- さまざまな集いの場を訪問し、その**役割や取り組みの持つ意味を丁寧に伝える**ようにしている（猪尾）
- 何気ない日常会話の中に隠れている、困りごとや地域の宝物など、**いろいろな地域の情報に気づけるよう意識**している（猪尾）
- 協議の場では、地域の「ないもの探し」ではなく「**あるもの・出来ていること探し**」を行い、自由に意見が言える雰囲気づくりを心がけている（森井）

猪尾コーディネーター（一宮・波賀担当）

読者の感想より

歳末たすけあい運動でいろんなサービスがありすばらしいなと思いました（一宮町 女性）

# 生活支援コーディネーター の主な活動を紹介します！



森井コーディネーター  
(山崎・千種担当)

★……コーディネーターの活動  
実績や成果物（カタチ）

## ◆社協広報紙で活動を紹介（情報発信）

生活支援コーディネーターの活動や、地域で発掘した宝物（住民活動や資源）等を「こんにちは！社協です！！」で紹介しています。

★生活支援コーディネーター日誌等（毎月掲載）

## ◆ふれあい喫茶や百歳体操への訪問

ふれあい喫茶やいきいき百歳体操等を訪問し、誰もが気軽に集える居場所として、参加する人たちが何らかの役割をもって関わることができるよう提案し、活動の輪を広げています。

★ふれあい喫茶、いきいき百歳体操、自宅開放型  
居場所等（上半期 計10か所訪問）

## ◆居場所や集いの場の立ち上げ支援

空き家等を活用した新たな支え合いの拠点づくりを支援するため、各種助成制度を紹介し、申請書類の作成のお手伝いなどを行っています。

★鹿沢いきいき教室、ホット・カレン、倉床自治会  
（上半期 計3団体を支援）

## ◆支え合いの地域づくり講演会で活動啓発

ご近所福祉クリエーターの酒井保先生を講師に招き「“ホンモノ”の支え合いって何だろう…」をテーマに講演会を開催し300人が参加しました。生活支援コーディネーターの活動啓発をはじめ、宍粟市内の支え合い活動の事例紹介、地域包括ケアシステムや新しい総合事業の周知等を行いました。

★支え合いの地域づくり講演会（H29.9.2）

★地域の支え合い活動事例集（H29.9）

★食の生活支援パンフレット（H29.9改訂版）



さまざまな支え合いの実践が地域の宝物(神戸小)

## ◆ご近所サポーターの養成（人づくり）

退職世代を対象に、近所同士で生活のちょっとした困りごとをお手伝いするご近所ボランティアに加え、地域のふれあい活動や居場所づくりなど地域活動を実践してもらえるよう、ご近所サポーターを養成しました。

★ご近所サポーター養成研修（H29.8～9）

## ◆地域資源や地域課題の聴き取りと分析

ひとり暮らし高齢者で介護認定を受けていない方を中心に行った訪問調査を集計し、見えてきた生活課題やニーズについて、行政が策定中の「第7期介護保険事業計画」へ生活支援サービスの展開につながるよう分析結果をまとめました。

★日頃の困りごとアンケート調査・分析（H29.3～7）

## ◆しそ“地域の宝物”リストの作成

宍粟市の公的な制度・サービス以外のインフォーマルな取り組みなどの社会資源や地域資源＝“地域の宝物”をまとめたリストを作成しました。作成したリストが有効に活用できるよう、地域住民や専門職へ周知していきます。

★しそ“地域の宝物”リスト（H29.12）



「郵便局のみまもりサービス」も宝物(千種郵便局)

## ◆福祉関係者等との連携（情報交換・研修）

高齢者の生活支援に関わる福祉関係者や団体事業所等に出向いて、生活支援コーディネーターの役割や活動の説明、社会資源・地域資源等のインフォーマルな取り組みなどの情報交換、地域づくりや認知症の研修会などを開催しています。

★福祉委員、民生委員児童委員、コープこうべ等  
（上半期 計13関係者・団体で開催）

## ◆「地域を元気にするための協議の場」づくり

自分の地域について、自由に話し合える協議の場づくりをめざし、第3層域（校区や自治会域）で機能を持つ福祉連絡会へ関わり、そこから見えてくる課題などを第2層域（旧町域・保健福祉圏域）で話し合いながら、地域で暮らし続けるための支え合いを生み出す仕組みをつくりまします。

★【山崎】城下地区福祉委員会、土万ふれあいの館、  
地域サポート宍粟ふる里推進協議会等

【一宮】More 繁盛（繁盛地区まちづくり協議会）、  
三方地区地域活性化委員会等

【波賀】第6ブロック連絡会（仮称）等

【千種】千種まちづくり推進委員会等

※各圏域での委員会等を「協議の場」と位置づけ、話し合いや活動の場に関わります。

やさしさ

# 素敵な作品に感激!

## さつき園「秋の作品展」

11月17日(金)、宍粟福祉会さつき園(五十波)を訪れると、「秋の作品展」が開催されており、絵画や書道、貼り絵等が並んでいました。

この作品展は、利用者の特技を多くの方に知ってもらおうと初めて開催されました。

地域からの来園者も多く、時間をかけて数々の作品を手掛ける利用者の励みにもなり、さつき園を知っていただく機会にもなっています。

当園は、知的障がいのある方が主に利用され、就労訓練やレクリエーション等の活動をしなが、地域の方々との交流も積極的に取り組み、地



「一生懸命書いたのでいろんな方にみてもらえるのが嬉しいです」と平瀬進也さん



「刺繍糸を細かく切って、色を混ぜ合わせています。時間はかかりましたよ」と笑顔の榎崎智絵さん

元五十波自治会のふれあい市や県立山の学校の学祭などへも参加されています。西塚洋子施設長は、「来園者から、どの作品も力強く本当に素晴らしい。力作に感激しました」とうれしい言葉をいただいています」と話されます。地域の方に興味を持っていただき鑑賞していただける機会が増えればいいなと思います。展示にご協力いただけるお店や施設は、宍粟市社協までご連絡ください。

(山崎支部 山本めぐみ)



い

# 「どないや、楽かいな?」

## 三方地区で集いの場

11月18日(土)、三方町交流センターを訪れると、三方地区(6自治会)のひとり暮らし高齢者32人がお弁当を囲んで交流されていました。

この集まりは、三方エプロンの会(地元的女性有志9人)が、ひとり暮らし高齢者を招待した食事会で、「どないや、楽かいな?」の集いの名称で昨年から取り組まれています。

旧婦人会の時代から、エプロンの会が年1回ひとり暮らし高齢者等へ手作りお弁当を届けていた活動を発展させ、みんなで顔を合わせて食事をする場を作りたいとの思いで現在に至っています。

「会場までの送迎や参加できない方のお弁当の配達、自治会長さんに協力してもらたんやで」「みなさんのお互いさま



「久しぶりやね。元気にしょってか?」「ええぼちぼち。みんなで食べたら、美味しいなあ」(三方町交流センター)

の気持ちがありがたい」と、同会代表の秋田貴美子さんが嬉しそうに話されました。「どないや、楽かいな?」の言葉には、お互いを気遣い、困った時は地域みんなで支え合いたいとの思いが込められています。

社協は、自治会を超えた地区での集いを通して、地域のつながりや普段からの住民同士の支え合いがますます広がるよう応援していきます。

(二宮支部 上川あゆみ)

は  
が

## 自治会を超えた“つながり”を

## 第6ブロックふれあい喫茶

終了となりました。

そこで波賀の福祉活動を推進する波賀地域福祉推進委員会が、少子高齢化・過疎化が進む北部地域で『自治会の枠を超えた広域的な集いの場を続けていけないか』と自治会へ呼びかけ、今回のふれあい喫茶の開催となりました。

開催にあたって各自治会関係者が集まり実施内

11月23日（祝）、鹿伏公民館で波賀町北部（日ノ原・音水・鹿伏・道谷・戸倉）合同のふれあい喫茶が開催され、42人が集まりお茶を飲みながら楽しく交流しました。

波賀町北部域では、これまで高齢者を対象に介護予防事業「第6ブロックのつどい」が行われていましたが、介護保険制度の改正により平成28年度をもって



久しぶりの人や初めての人、いろんな人と出会えて楽しいわ（鹿伏公民館）

容や会場、参加方法など協議を重ね、参加者の声かけや送迎、準備、運営等を地域の助け合いで行いました。

「ここは雪が多く、昔の方々は助け合って生活されていたので、年配の方ほど自治会を超えて知り合いも多いです。そんなつながりが大切なんです」と鹿伏自治会長の小椋龍雄さん。

喫茶を通し、若者の参加や送迎の問題等、様々な課題も見つけましたが、地域の支え合いで第6ブロックのふれあいの場がこれからも続くように社協も応援していきます。

（波賀支部 田中祥仁）

ち  
くさ

## ふれあう機会が大切！

## 「こころあつたかカフェ」



福祉委員、民生委員、身障協会、更生保護女性会、まちづくり推進委員、ボランティア等をご招待（千種保健福祉センター）

12月2日（土）、千種保健福祉センターを会場に「こころあつたかカフェ」を開催し、千種町で活躍されている福祉関係者の皆さまを招待しました。

あつたかカフェは、地域のつながりを深める集いの場として平成26年度から開催しており、千種の福祉活動を推進する千種地域福祉推進委員会と本会千種支部で協力し、今回で6回目になります。

当日は40人の参加があり、テーブルごとに自分たちの活動紹介や大切にしていることなどお茶を飲みながら語り合いました。

会場からは、「保護司の活動について初めて知った」「こうやって活動している者同士ふれあう機会が大切だと思った」といった声が聞かれ、さまざまな活動について改めて知る機会となりました。

このように、あつたかカフェは、福祉やまちづくりのさまざまな情報が共有できる大切な機会となっています。

いろんな人の声を大切に、みんなが安心して暮らせるまちづくりを社協もいっしょに取り組んでいきます。

※千種まちづくり推進委員会のホームページ「ちくさえとこネット」に、あつたかカフェが紹介されています。

（千種支部 横山洋子）

## 豪雪時の雪かきボランティア ～いっしょに取り組みませんか～

募集中



(2/18 戸倉地区)

この冬大雪が降り、高齢者や障がいがある方の生活に大きな影響が生じる場合に備え、「雪かきボランティア」の登録者を募集しています。みんなで助け合い、支え合うこの活動にご協力ください。

**登録対象** 高校生以上で健康な方

**登録・活動期間** 平成30年2月28日(水)まで

**登録から活動までの流れ**

登録用紙に記入し、申込みをしていただきます。雪かきボランティアによる支援が必要となった時に、登録者に連絡し、雪かき支援チームとして活動に取り組みます。

**問合せ** 本部 ☎ 72-8787



## 災害時の助け合いの拠点に 災害ボランティアセンター開設訓練



ここで困りごとを聞いてもらえるの？

11月19日(日)、メイプルスタジアム(波賀町有賀)で宍粟市総合防災訓練が行われ、災害時に本会が取組む災害ボランティアセンターの開設訓練を実施しました。

訓練には、今年度結成した「災害ボランティアネットワーク」のみなさんにも参加いただき、本会職員との顔合わせから、開設に向けたミーティング、そして会場へ移動しセンター設営と一連の流れを体験しました。

また、模擬訓練では会場に来られた自治会役員の方々が被災者役になり「地震で家の中が滅茶苦茶になった」「近所の一人暮らしの方が心配」等と相談に訪れ、本会職員が話を聞き取り、支援につなげられるように対応する等、実践的な訓練に取組みました。(波賀支部 田中祥仁)

## いい話を聞かせてもらった ～宍粟市ボランティアのつどい～

講師の話  
を熱心に  
聞き  
入る  
参加  
者の  
みなさん



宍粟市ボランティア連絡会では、11月27日(月)、宍粟防災センターを会場に、ボランティアのつどいを開催し92名の参加がありました。

今年度は、二人の方を講師に招き、ネパールを訪れ復興支援をされている大岩辰男さん(山崎ボランティア連絡会会長)からは、ネパール地震の状況報告や様子についてお話いただきました。

また、音楽療法士の日下由美子さんには、音楽を使ったレクリエーション指導をしていただき、みんなで歌いながら楽しい時間を過ごしました。

参加者からは、「ネパールの現状を知れてよかった」「笑い合えるのは良いことやね」などの声が聞かれ、和やかな雰囲気ですどいを終えました。

今回のつどいで素晴らしい実践や情報を大切にし、今後の活動に活かしていただけたと思います。(山崎支部 秦亜里彩)

## “今後に活かす”情報を交換 ～ふれあい喫茶・サロン交流会～



11/16(木)  
千種保健福祉センター

当日は、参加者がスタッフとして喫茶を運営しました



12/2(土)  
一宮保健福祉センター

お互いの取り組み内容に話が盛り上がります

宍粟市内各自治会等で取り組まれている、ふれあい喫茶・サロン活動。今回、一宮と千種において交流会を開催し、ボランティアや福祉委員など、活動者やこれから取り組もうといった方の参加があり、運営方法や活動で心がけていることなど情報交換を行いました。

参加者からは「普段の声かけや集まるのが大事」「日頃の様子から変化にも気づくことができる」「他の自治会の話はとても参考になった」など、すばらしい感想が聞かれました。

ふれあい喫茶やサロンは、集いの場や居場所として、また、見守りの機能として大切な役割を果たしています。今回の交流会を今後の活動に活かしていただければと思います。

(千種支部 小原志のぶ)

読者の  
感想より

毎月楽しく拝読させてもらっています。寒くなりますが皆様頑張っておられますね。私もボランティアに応募したいと思います(山崎町 女性)